



2018年8月7日

各位

会社名 株式会社 博報堂DYホールディングス  
 代表者名 代表取締役社長 戸田 裕一  
 (コード番号 2433 東証第一部)  
 問合せ先 I R 部長 八木 聡  
 (TEL 03-6441-9033)

2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結) 参考資料

本日公表しました2019年3月期 第1四半期決算短信の主要な点につきまして以下の通りまとめましたので、参考資料とさせていただきます。

記

1. 連結損益計算書 要約 (2018年4月1日~2018年6月30日)

(単位: 百万円)

	2018年3月期 第1四半期 (実績)	2019年3月期 第1四半期 (実績)	前年同期比	
			増減額	(%)
売上高	301,164	323,870	22,706	7.5%
売上総利益	58,458	79,158	20,699	35.4%
(売上総利益率)	(19.4%)	(24.4%)	(+5.0%)	
販売管理費	50,638	59,223	8,584	17.0%
営業利益	7,820	19,935	12,115	154.9%
(オペレーティング・マージン)	(13.4%)	(25.2%)	(+11.8%)	
営業外損益	1,025	1,582	556	
経常利益	8,846	21,517	12,671	143.2%
特別損益	△ 31	3,458	3,490	
税引前利益	8,814	24,976	16,161	183.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,418	9,837	5,418	122.6%

(オペレーティング・マージン) = 営業利益 / 売上総利益

当第1四半期連結累計期間(2018年4月1日~2018年6月30日、以下「当第1四半期」)における日本経済は、米国発の貿易摩擦の強まりや原材料価格の上昇などもあり、企業の景況感の慎重化が見られたものの、足元の景気動向としては、底堅い内外需を背景に、緩やかな回復傾向が継続しております。一方、国内広告市場(注1)については、底堅い国内経済の動きに反して、4月、5月と2ヵ月連続で前年を下回るなど、低調な滑り出しとなりました。

このような環境下、当社グループは、2019年3月期を最終年度とする中期経営計画に則り、積極的な事業展開を継続してまいりました。また、当第1四半期において連結子会社のユナイテッド(株)が投資先である(株)メルカリの株式を売却した影響もあり、売上高は3,238億70百万円と前年同期比7.5%の増収となりました。

当第1四半期の売上高を種目別に見ますと、4マスメディアでは、前年同期に好調であったテレビの反動減もあり、全ての種目で前年同期を下回りました。一方、4マスメディア以外では、アウトドアメディアとその他が前年同期を下回ったものの、インターネットメディアを中心にマーケティング/プロモーションと

クリエイティブが好調に推移し、4マスメディア以外取引合計は前年同期を上回りました。

また、売上高を得意先業種別に見ますと、主な増加業種としましては、「外食・各種サービス」「飲料・嗜好品」「金融・保険」、また、主な減少業種としましては、「情報・通信」「不動産・住宅設備」「出版」となっております。(注2)

売上総利益に関しては、既存事業の順調な拡大に加え、新規連結子会社の取り込みによる押し上げ効果、連結子会社における株式売却の影響もあり、前年同期より206億99百万円増加し、791億58百万円(同35.4%増加)となりました。販売費及び一般管理費は、M&Aによる体制強化および戦略的費用投下を行った結果、17.0%の増加となり、その結果、営業利益は199億35百万円(同154.9%増加)、経常利益は215億17百万円(同143.2%増加)と、いずれも大幅な増益となりました。

特別損益については、一部の連結子会社において確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度へ移行したことに伴う退職給付制度終了益を35億64百万円計上した結果、特別利益は39億28百万円、特別損失は4億69百万円となり、以上を加味した税金等調整前四半期純利益は249億76百万円(同183.4%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は98億37百万円(同122.6%増加)となりました。

(注1)「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)によります。

(注2) 当社の社内管理上の区分と集計によります。

## 2. 連結貸借対照表 要約 (2018年6月30日)

(単位：百万円)

	2018年3月末		2018年6月末		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	(%)
流動資産	538,905	67.5%	538,007	65.1%	△ 898	-0.2%
固定資産	259,230	32.5%	288,760	34.9%	29,529	11.4%
資産合計	798,135	100.0%	826,767	100.0%	28,631	3.6%
流動負債	390,851	49.0%	348,401	42.1%	△ 42,450	-10.9%
固定負債	39,916	5.0%	63,522	7.7%	23,606	59.1%
負債合計	430,768	54.0%	411,923	49.8%	△ 18,844	-4.4%
株主資本	282,439	35.4%	287,316	34.8%	4,876	1.7%
その他の包括利益累計額	60,679	7.6%	71,887	8.7%	11,208	18.5%
新株予約権	454	0.0%	458	0.0%	3	0.8%
非支配株主持分	23,793	3.0%	55,181	6.7%	31,387	131.9%
純資産合計	367,367	46.0%	414,843	50.2%	47,475	12.9%
負債純資産合計	798,135	100.0%	826,767	100.0%	28,631	3.6%

## 3. 通期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

現時点で、連結業績見通しの見直しは行っておりません。

(注) 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上